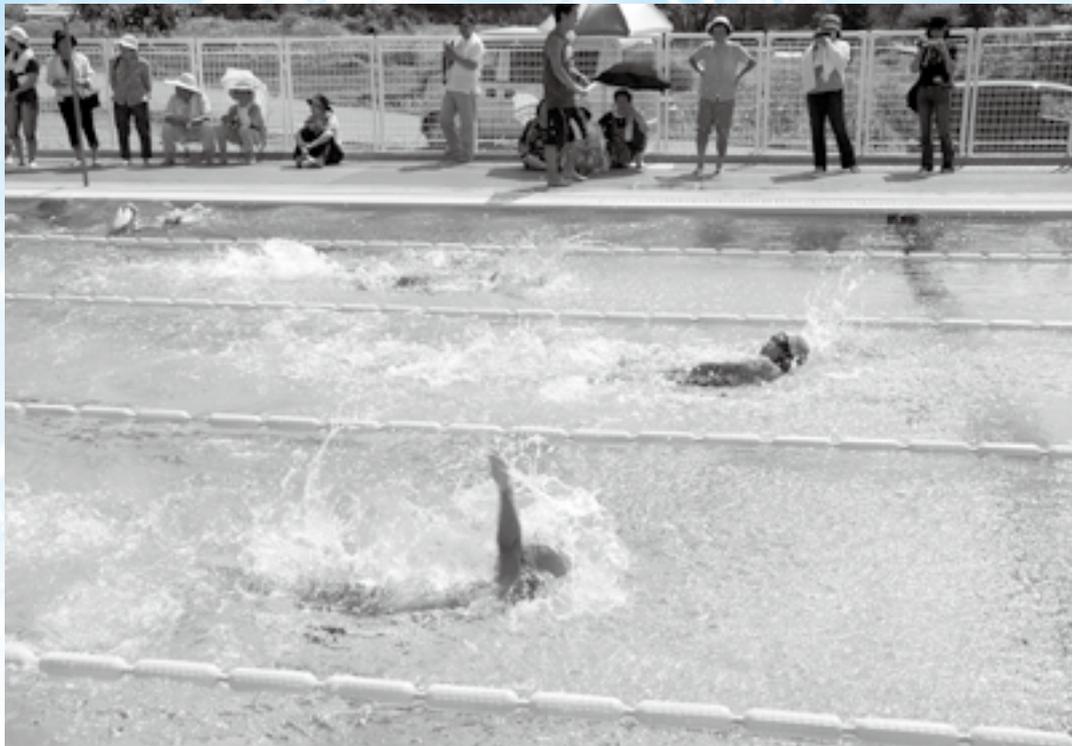


新しいプールで最初の記録会

明和小学校水泳記録会



▲新しいプールで自己新記録を目指す児童



▲小プールでの
ビートバン競争

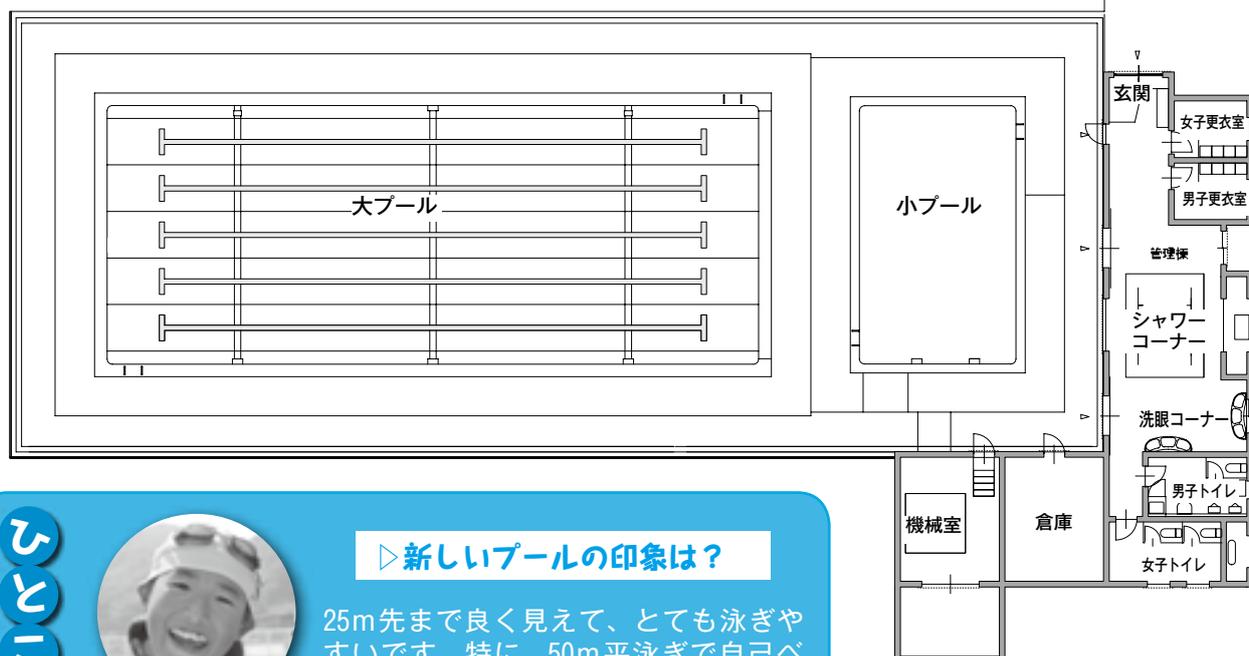
まっ黒に日焼けした児童は、新しいプールで、練習以上の華麗な泳ぎを披露していました。

プールサイドには大勢の保護者も詰めかけ、一生懸命ゴールに向かって泳ぐ児童を応援したり、写真やビデオに記録する姿が見られました。

夏の日差しに光り輝く新しいプールで行われた記録会には児童66名が参加、自己記録の更新目指し、力いっぱい水しぶきを上げていました。

プールサイドには大勢の保護者も詰めかけ、一生懸命ゴールに向かって泳ぐ児童を応援したり、写真やビデオに記録する姿が見られました。

気温30度を上回る真夏の青空が広がった9月1日、明和小学校の水泳記録会が行われました。



明和小学校プール平面図

インタビュー



梁取 陸くん(6年)

▶新しいプールの印象は？

25m先まで良く見えて、とても泳ぎやすいです。特に、50m平泳ぎで自己ベストのタイムが出せたので嬉しいです。あと、温水シャワーがいいと思います。

町民の意見や要望を町政に… 第1回町政懇談会

平成22年度第1回の町政懇談会が、8月23日は朝日地区センターで、24日は只見地区センターで、27日は明和地区センターで開かれました。

はじめに、目黒町長が「各地区の課題解決に向け、皆さんの色々な意見を伺う場です。同時に地域の方々との信頼関係を築く場でもあり、重要な会議です。皆さんの意見や要望を町政に活かしていきたいと考えます」とあいさつを述べ、続いて各地区センター運営委員会長のあいさつがあり、町職員自己紹介のあと、懇談に移りました。

懇談では、渡部勇夫総務企画課長が、平成22年度の町予算の概要と、主要事業や補正予算の内容について説明し、意見交換を行いました。

出席された町民からは、猿の被害対策や、八十里越（国道289号）道路工事の進捗状況、コミュニケーションビ



▲只見地区センターでの懇談会

ジネス事業、県道や町道の改良事業、少子高齢化・若者定住対策、旧只見中学校の利活用、木材資源の有効活用、農業集落排水使用料の改定、農家民泊事業、旧明和小体育館の再利用、地方交付税や固定資産税の見直しなどについて、質問や意見が出されました。

現在取り組んでいる事業は継続し、新たに取組まなければならぬ事業は今後検討し可能なものから実施していくことを確認し、懇談会は終了しました。

地元大工・工務店などを活性化 地元大工・工務店等の活性化に関する調査研究会

8月27日に第1回地元大工・工務店等の活性化に関する調査研究会が朝日地区センターで行われました。

この事業は、福島県の大学等の知の活用による地域支援事業の採択を受け実施されるもので、委託された超学際的機構（福島市）が事業を進めます。

同研究会は、郡山女子大学や北海道工業大学の教授や准教授をはじめ、地元の建設・建築業者、南会津建設事務所、只見町などがメンバーで、今後、町内

の世帯を対象にアンケートやヒアリング調査を行い、除雪の負担が軽減される住宅構造などを調査研究し、その結果から町の住宅建設には何が必要かを整理検討、活性化対策を考えていきます。

さらに、町民を対象とした住宅に関する勉強会なども行い地元木材の有効利用について理解を求める活動も展開していきます。

福島県身体障がい者福祉協会 南会津支部スポーツ教室

8月27日に只見地区センターで福島県身体障がい者福祉協会南会津支部が主催するスポーツ教室が開かれ、只見町から21名、南会津町から20名、下郷町から12名が参加しました。

目黒町長は、「一生懸命に体を動かし、汗を流し、交流を深めてください。優勝目指し頑張ってください。優勝目指し頑張ってください」と祝辞を述べました。

その後、小沼征子さん（黒谷）の選手宣誓により、競技がスタートしました。選手は、輪投げ競争やジャンケンリレー、紅白玉入れなど、全7種目で優勝を競いました。



▲表彰状を手にする馬場マリ子さん

また、南会津支部長表彰の表彰式も同会場で行われました。只見町の表彰者は次のとおりです。

▽自立更生表彰：馬場マリ子さん（蒲生）▽感謝状：五十嵐平一さん（福井）、佐藤康女さん（大倉



▲今後の活動計画などを協議した研究会

長岡市民が長岡藩士の墓を墓参

8月16日、塩沢で河井継之助墓前祭が行われ、長岡の河井継之助記念館友の会37名が参加しました。その帰路、一行は只見字宮前の墓地にある長岡藩士・石垣龍三郎の墓をお参りされました。石垣龍三郎は、今から142年前の戊辰戦争の折、只見で亡くなられた長岡藩士です。現在、田中の目黒竹市さんがその墓を守り続けています。竹市さんによると、どのような経過



▲長岡市民を前に説明する目黒竹市さん

かわからないが3代前の先祖からずっと受け継いでいるとのこと。おそらく、明治初期に石垣家の関係者が龍三郎の墓を建て、目黒家に依頼されたものではないかと思われます。墓参した長岡市の方々からは、いまでも大切に守られている墓を目の当たりにし、只見と長岡の深いつながりに思いを新たにされたようです。

正しい交通ルールやマナーを身につけよう
平成22年度交通少年団研修会



▲機動隊員から県警ヘリの説明を受ける交通少年団員と保護者

第39回
只見ふるさとの雪まつり
第1回企画実行委員会



▲あいさつをする目黒町長

8月27日、只見町役場3階会議室で、第39回只見ふるさとの雪まつり第1回企画実行委員会が開かれました。

実行委員長の目黒町長は、あいさつで「早めのスタートをして、地域に愛されるまつりにしていきたい」と述べました。

出席委員は、事務局から昨年のおまつりの実施報告を受け、「町民みんなが楽しめるまつりにしたい」など、活発に意見交換を行いました。

まつりは平成23年2月12日(土)、13日(日)に行われます。

南会津地区交通安全協会が主催する平成22年度交通少年団研修会が8月3日に、福島市の福島県警察本部交通部交通機動隊で行われ、只見町交通少年団員6名(只見小学校5年生)が参加しました。

研修では、機動隊員による白バイやパトカーの操作説明を聞いた。さらに、体験試乗が行われました。さらに、県警ヘリコプターの説明も受け、操縦席などを見学した交通少年団員は笑顔を見せながらも緊張した様子でした。

また、シートベルトを着用しての低速衝突時の衝撃も体験した交通少年団員は、交通安全の大切さを再認識し、研修を終えました。

新しい英語指導助手に アンナ・ジョージさん

▼Anna・George (23歳)
アンナ・ジョージ

- ・1987年生まれ。
- ・英国ノーフォーク出身。
- ・2010年8月から只見町英語指導助手。
- ・小学校と中学校で語学の指導を行います。



只見町の皆様、はじめまして。私の名前はアンナ・ジョージと申します。アンナと呼んでください。日本語を4年間勉強していました。今も日本のマンガなどで日本語を勉強しています。

私は英国グレートヤマースという町からやって来ました。グレートヤマースは、ノーフォーク州にあり人口は約5万人です。ノーフォーク州は英国内でも美しい景観の地域で、特に「ノーフォークブローズ」という広域に渡って流れる大きな川があることで有名で、他にも人工の池や水路などが知られています。またノーフォーク州は、豪華な歴史ある館が点在することや、海岸線の美しさとそれらを楽しめる海岸沿いの町が多いことでも知られています。

大変平らな土地で、この只見で山々に囲まれての生活をとても楽しみにしています。

私の趣味は、料理やフラフープなどです。イラストを描くのが得意でイラストレーターの仕事もやったことがあります。日本にいる間に文化への理解を深めるため、また日本の人びとと会話ができるように日本語を学びたいと思っています。また伝統的な日本料理も勉強したいと思っています。

只見の冬は、雪が多いと聞いていますので、スノーボードをやりたいです。雪まつりも楽しみにしています。その他の文化的な活動にも参加してみたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

リアルに再現した木工細工 バードカービング展

8月20日～22日の三日間、「バードカービング展」が、ただみ・ブナと川のミュージアムで開かれました。バードカービングとは、野鳥の姿を本物と見間違うほどリアルに再現した木工細工のことです。日本には1979年に紹介され、自然が好きな人たちの趣味や、博物館などで展示する剥製（はくせい）の代わりとして広まりました。

本展では、バードカービング作家の遠藤勇さん（神奈川県在住）の作品を25点ほど展示。ヤマセミやカワセミ、アカシヨールビンなど只見でおなじみの野鳥のほか、割り箸で制作した色とりどりのカミキリムシなど、ユニークなアート作品も並びまし

た。
当日は、バードカービング教室が行われ、15人がスズメやキセキレイづくりなどに挑戦しました。主催は、只見の自然に学ぶ会。共催は、只見町ブナセンターです。



▲バードカービング展の様子

平成22年度 献血団体表彰

日本赤十字社福島県支部長
銀牌感謝状

Jパワーグループ
(電源開発株式会社田子倉
電力所・JPハイテック)

